

今週のセルグループ(赤字)			8月15日(日)~8月21日(土)	
セル(グループ)	回目の日時	場所	前回の証しなど	
リバイバル 北山姉	8/15(日) 礼拝後	LINE 電話	8/8 2名	「これは愛が動機か」。自分の心のための対応はハッキリと違和感や心の重さを感じる。
グレイス 鈴木千姉	8/20(金) 午後8:30	鈴木宅	8/6 4名	言えないのが問題だと言われた。あらためて静かに話をしたいと思う。
Gospel 鈴木尚姉	未定		8/9 2名	主の愛が届くようにするには、どう言えばいいのかな、と考えさせられた。
オイコス 磯貝姉		LINEで 分かち合い	8/8 9名	面倒がらずにどうしたら相手にわかるかを考えるように変えられていることに感謝。
からし種 磯貝姉	8/26(木) 午前10:00	Zoomで 分かち合い	8/5 4名	それを神様が喜ばれることかと聞いてみればいいとアドバイスを頂いた。
ユース 岩下兄	8/15(日) 午後2:00	LINEで 分かち合い	8/1 3名	ただ指摘をするのではなくて、一緒に重荷を負ってあげてほしい。
Rock 鈴木洋兄	8/25(水) 午後8:30	鈴木宅	8/4 3名	気付いたことは言ってあげたほうが良いと示され、(部下に)指摘して論じた。
シャローム 平岩姉	8/28(土) 午前10:00	平岩宅	7/24 3名	少しでも神様から離れると罪が噴き出すことが身をもって分かった。
なつめやし 高橋智姉	8/22(日) 練習後	高橋宅	8/8 5名	私が誰よりもセルのために祈り続ける必要があることに気づきました。
リジョイス 杉本姉	8/17(火) 午前10:15	赤塚宅	8/3 4名	メッセージをすぐ思い出して怒りを捨てて愛そうと微笑みました。
ジョイフル 穂刈兄		Zoomで 分かち合い	8/1 6名	自分なりの理解で何とか自分を成り立たせてきた。それで疲れてきたのに捨てられない。
アガペ 長塚姉	8/29(日) 練習後	コミュニテ ィセンター	8/8 4名	相手を変えようとして話していた、また行動していたことに気づかされ悔い改めました。
サクセス 鈴木勝兄	8/29(日) 礼拝後	コミュニテ ィセンター	8/8 15名	<b>セルリーダーのためにお祈りください。</b>
リーダーズ セル	8月はお休み	Zoomで 分かち合い	7/14 19名	尽くし抜く。尽くすことで喜びにあふれる。
セル研修	休講			
ビジョン 平岩恵兄	8/15(日) 午後1:00	コメダ	8/8 3名	徹底的に人に仕えて仕事をしなさい、愛が動機で仕事をしなさいと、改めて語られた。
worship 長塚寛兄	8/15(日) 礼拝後	コメダ	7/18 4名	自分自身の弱さや状況を知ってもらって、祈り合うことが出来て、感謝でした。
高校生 平岩姉	8/15(日) 午前9:00	コミュニテ ィセンター	8/8 2名	相手に思っていることを言えないことが問題。言うことが愛。伝えることが愛。
中学生 梅田姉	8/15(日) 午前9:00	コミュニテ ィセンター	8/8 4名	心の中でお祈りして、無視された子も、一緒に話せる様に、こちらから話しかけた。
キッズ2 小山姉	8/15(日) 午前9:00	コミュニテ ィセンター	8/8 4名	人から凄いと想われたい、と思っていた。これからは愛が動機で行動したいと思った。
キッズ1 芳井姉	8/15(日) 午前9:00	コミュニテ ィセンター	8/8 3名	「どうき」は、「神様大好きだーかーら！」ってことがわかった。
Shine 小原姉	8/22(日) 午後4:30	エステル	8/8 5名	LINEをしたら、思ってもいない優しい返事が返ってきた。したかった家族の関わり。
ギデオン 芳井兄	8/28(土) 午後6:30	芳井宅	7/24 3名	人を愛して生きたいという思いがあるがそれは自分ではできない。主とともにできる。
カルバリ 野田兄	8/17(火) 午前9:00	野田宅	8/3 8名	食事の交わりを行いました。喜んで兄弟姉妹と共に会話を楽しめたことは主の御業。
神の家族 伊岐見真姉	8/28(土) 午後7:30	LINE 電話	7/31 2名	神様のあわれみの中に生きることが出来る祝福を感謝します。

礼拝奉仕		聖日礼拝		祈祷会		
		司会	奏楽	奏楽		
今週	8/15(日)	I	大高愛姉	鈴木千姉	8/19(木)	鈴木千姉
		II	大高愛姉	鈴木千姉		
来週	8/22(日)	I	大高愛姉	鈴木千姉	8/26(木)	鈴木尚姉
		II	大高愛姉	鈴木尚姉		

※ 8/17(火)のバイブルスタディは休講になります。

※ 8/18(水)の浜松バイブルスタディは休講になります。

※ 日曜礼拝バイブルスタディの補講が始まっています。第二礼拝と並行して行われます。第一礼拝に出席してからご参加ください。受講者には係から直接連絡があります。祝福をお祈りください。

### 祈りの課題

- ・人々の救いを覚えて
  - ▶ 家族知人をキリストへ
  - ▶ 教会近隣の人々の救い
  - ▶ 東海地方の救いのために
  - ▶ 日本の救いのために
  - ▶ 世界の救いのために
- ・働きを覚えて
  - ▶ バイブルスタディの働き
  - ▶ リバイバルクワイヤーの働き
  - ▶ リバイバルマズの働き
  - ▶ 那古野アウトリーチの働き
  - ▶ 祈祷会の祝福
  - ▶ 日曜礼拝の祝福
  - ▶ 牧師の働き
- ・ギデオン協会の働きのために
- ・セルグループの祝福
  - ▶ LIG人生変革グループの祝福
- ・プレーヤーハウス獲得のために

聖日礼拝 (日曜) (第一) 午前 9:00~10:30  
(第二) 午前11:00~12:30

キッズセル(子供礼拝) (日曜) 午前 9:00~10:30

日曜礼拝バイブルスタディ (日曜) 午前11:00~12:30  
☆第一礼拝に出席してから、ご参加下さい。

バイブルスタディ (第1、第3火曜) (昼) 午後 1:00~ 2:30  
(夜) 午後 7:00~ 8:30

祈祷会 (木曜) 午後 7:00~ 8:30

特別早天祈祷 (土曜) 午前 6:00~ 7:00



## 主の御手 週報

NO.1359

2021年8月15日(日)発行 8月第3週

私たちのビジョン [宣教] 主の御手が彼らとともにあったので、(使徒の働き11:21) 大ぜいの人が信じて主に立ち返った。

### 日曜礼拝

開始 9時 (第一礼拝)

開始 11時 (第二礼拝)

- ・讃美
- ・祈り (祈りの姿勢をおとり下さい。)
- ・聖書交読 (司会者と交互に全員で読みます。)
- ・讃美
- ・メッセージ
- ・祈り
- ・神への感謝 (集会感謝の献金があります。ご意志で自由にどうぞ。)
- ・主の祈り (初めての方はスクリーンをご覧ください。)
- ・連絡

#### お願い

- (1) 礼拝後は、必ずコイノニアルームなど、室内にお入りください。道路上にとどまることがないようにお願いします。
- (2) また、必ず一度は、コイノニアルームに立ち寄るようにお願いします。重要なお知らせなどがあります。

今年のテーマ [神の愛を知ろう] 私たちが神を愛したのではなく、神が私たちを愛し、私たちの罪のために、宥めのささげ物としての御子を遣わされました。ここに愛があるのです。(ヨハネの手紙 第一 4章10節)

## 日曜日は教会へ



主の御手がともにある

名古屋バイブルチャーチ

〒451-0042 名古屋市西区那古野2-20-19  
TEL 052-587-5060 FAX 052-587-5061 牧師 中西幸輝

## みことばを熱心に聞く



「ローマ10：17 で  
すから、信仰は聞く  
ことから始まります。  
聞くことは、キ  
リストについてのこ  
とばを通して実現す  
るのです。」

### せみの声

暑さが得意なわけではないのですが、毎年せみの声を聞くと「夏が来た！」とわくわくします。なぜかと考えると、せみの声が、子どもの頃の楽しかった夏休みを思い起こさせるからなのだろうと思います。朝早く起きて外に出ると、夏の朝の明るい日差しの中で、にぎやかに鳴くせみの声を聞きながら、玄関のプランターに植えてある朝顔の花が、今日はいくつ咲いているかな、と楽しく数えた情景などを思い起こすのです。

江戸時代の俳人である松尾芭蕉の句に、「閑（しずか）さや岩にしみ入る蟬の声」というのがあります。「なんて静かなのだろう。岩にしみ入るようにせみが鳴いている」という意味ですが、この句を詠んだ時に芭蕉がたたずんでいた山奥の静けさが、岩にしみ入るほど騒がしいせみの声を聞いていると、一層静かに感じられる、という意味なのだそうです。私たちは一斉に鳴くせみの声を、「うるさいなあ、静かにしてほしいなあ」と、どちらかというとも邪魔に感じることもあるかもしれません。しかし、日本では昔から、せみが一斉に鳴いている様子を「せみしぐれ」という

美しいことばで表現するように、せみの鳴き声は夏の季節や風景を味わうのに欠かせない夏の風物詩となっています。もしせみがいなくなったら、夏の季節感が大幅にそがれてしまうのではないのでしょうか。

### 雑音に聞こえる

ところがせみの鳴き声について調べていたら、あるネットの記事に「アメリカ人にはセミの音が聞こえない」という記述を見つけました。あんなに騒がしいせみの音が聞こえないわけはありません。それはつまり、アメリカ人にはせみの鳴き声が、雑音に聞こえるということなのです。つまり虫の声であるとは認識されていないということです。せみの声に限らず、日本人は秋の虫のゴオロギや鈴虫などの声にも情緒を感じますが、多くの外国人には虫の声は雑音に聞こえるそうです。世界の中でも虫の声に情緒を感じる民族は少数なのだそうです。その理由は、虫の声など自然の音を、日本人は左脳（言語脳）で聞き、多くの外国人は右脳（音楽脳）で聞いているということで、文化の違いなのだそうです。同じものを聞いているのに、ある人は風情を感じ、ある人には雑音にしか聞こえないというのは不思議な感じがします。

### 本当に聞いているか

私たちは生活の中で、いろいろな音を聞きます。職場や学校にいても、道を歩く時も人の声やいろいろな物音が聞こえてきます。テレビや動画やラジオからも、音楽や人の話し声が聞こえて来ます。それらは耳に入って来ますが、必ずしも聞いているとはかぎりません。自分が聞きたいこと、興味のある声や音だけが

耳に入って来て、ほかの音は聞こえて来ないということがあります。たとえばレストランでBGMに好きな曲が流れていて、あとで一緒に食事した人に「あの曲が流れていたね」と言っても、「そうだった？」と全く聞こえていなかったということがあります。確かに耳には聞こえていたはずなのに、興味がなければ聞こえていないのです。耳から入って来ていても、心がそこに向いていなかったということなのでしょう。

ところで、私たちがみことばを聞くことに関してはどうでしょうか。冒頭のみことばは、「信仰は聞くことから始まります。」と教えています。神を信じる者にとって、みことばを聞くことが最も大切ということなのです。私たちは礼拝のメッセージでみことばを聞きます。また、聖書を読むときも、たとえ声に出さなくても、心の中でみことばを読む自分の声を聞いています。確かに耳に入っています。しかし、そのみことばを本当に聞いているのでしょうか。

たとえば、礼拝のメッセージで「あなたがたも互いに愛し合いなさい（ヨハネ13：34）」と語られる時、確かにみことばが耳に入ってきて来ます。そのとき、自分が愛していない人、愛したくない人の顔が思い浮かぶでしょう。職場のあの人の顔、家族のあの人の顔、あの兄弟の顔、あの姉妹の顔・・・と。そのとき「わかっているけど、今は無理」、と後回しになっていることはないでしょうか。そうだとしたら、それはみことばが聞こえていないことと同じことではないでしょうか。つまりみことばに心が向いていないということではないでしょうか。聖書には「自分を欺いて、ただ聞くだけの者となっ

てはいけません。（ヤコブ1：22）」とあります。みことばを聞くということは、聞いたらすぐに、愛そうとすることを始めることです。

### みことばを熱心に聞く

私たちは自分の好きな音楽には耳を傾けますし、尊敬する人の言うことばを熱心に聞きます。その音や声は自然に耳に入って来て心にまで届きます。ですから、なおさら私たちは、私たちが愛する主のみことばに熱心に耳を傾けることができます。

主はそのひとり子を私たちの罪の身代わりとして十字架につけてくださるほどに、私たちに愛してくださいました。私たちはこの福音のみことばに熱心に耳を傾けたので、イエス・キリストを信じて救われました。救いのみことばを聞いた時、「わかったけど、またいつか信じます」と後回しにしていたら、救われませんでした。

私たちは私たちが愛してくださった神様を愛しています。愛しているので、みことばを熱心に聞きたいと思います。そして聞いたなら従いたいと思います。大好きな方の言われることなので、自然に耳に入ってきて来ますし、言われたことを後回しにはしたくないのです。「愛しなさい」と聞いたなら、主が愛してくださったように、人を愛したいと思います。主はみことばに従う者の願いを何でもかなえてくださいます。「あなたがたがわたしにとどまり、わたしのことばがあなたがたにとどまっているなら、何でも欲しいものを求めなさい。そうすれば、それはかなえられます。（ヨハネ15：7）」。みことばを熱心に聞く者となりましょう。